

生き生き 韓国文化

2025年9月
vol. 38

読書の月



こんにちは！韓国国際交流員のチェ・スヨンです。
気づけば9月になりました。時間の流れが早いですね。
韓国で9月は「読書の月」です。読書の月を迎えて、
本に関する韓国のあれこれをお伝えします！

「読書の月」とは？

韓国には「読書文化振興法」という法律があります。「読書文化振興法」第12条に従って、読書の月を設定しています。

読書文化振興法 第12条

国家は、国民の読書意欲を高め、読書の生活化など、
読書文化振興に対する国民の積極的な参加を誘導するため
に読書の月を設定しなければならない。

読書の月は1994年から始まりました。「図書館及び読書振興法」（読書文化振興法の前身です）第48条と「図書館及び読書振興法施行令」第36条により、9月が読書の月に指定されました。法律で定められる以前にも、韓国図書館協会が設立された1995年から、毎年9月24日から30日まで「読書週間」を実施していました。

では、なぜ9月なのでしょう？それは、9月は気温と湿度が程よくて、本を読むのにいい天気だからです。

ソウル国際図書展

本に関しては韓国最大のイベントで、毎年6月頃に開催されます。2025年には合計17ヶ国から約500の出版社および関連団体が参加しました。

1947年教育博覧会の図書展示から始め、1955年に国際部分を拡大して、今のソウル国際図書展になりました。

著者サイン会、講演会、国内外の出版社のブース展示、著作権センターなどが行われます。毎年主題と主賓国を選定し、主題展示と主賓国イベントも行います。



ソウル国際図書展のインスタグラム

教保文庫 光化門店



文具専門店 文寶藏 / 読書新聞



スターバックス / 毎日経済

教保文庫光化門店は教保文庫の本店で、1981年開店しました。光化門広場の教保生命ビル地下にあります。ソウルの中心、高い賃賃を取れるにもかかわらず、教保生命の創業者は「ソウル真ん中に韓国を代表する書店一つくらいはなければならない」と、教保文庫を立ち上げました。

創業者の願い通り、教保文庫は韓国最大の大型書店チェーンに成長しました。特に光化門店は韓国大衆知識の総本山だとも言われます。

教保文庫光化門店では文具専門店やスターバックスなど、オフラインならではの経験ができます。有名な一つが教保文庫のシグネチャー香、「冊香(The Scent of Page)」です。緑豊かな森を歩くような香で、ディフューザーやルームスプレーなどを販売しています。

ビョルマダン図書館



コエックス店 / Starfieldの公式ブログ



水原店 / Starfield水原のホームページ

ビョルマダン図書館は、ショッピングモールStarfieldにある無料図書館です。コエックス店は地下1階から1階、水原店は4階から7階にわたる広い空間です。

図書館とは言え、複合文化休憩空間として運営されています。貸出は出来ませんが、閲覧とおしゃべり、飲料持ち込みは可能です。また、定期的に公演や講演が開かれます。ショッピング中の休憩空間、待ち合わせの場所、フォトスポットなど、ランドマークとして有名です。

ビョルマダン図書館が作られたのは、Starfieldコエックスが複雑で道に迷いやすい構造だったからです。中央にランドマークを置くことで、全ての道をランドマークに集中し、道探しのストレスを解消するという企画でした。